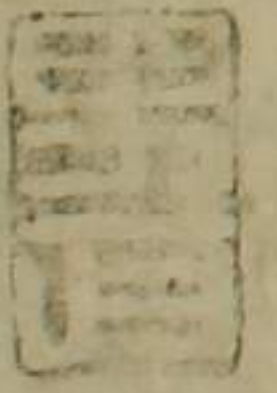


31  
4204  
4



大和園味  
椰圭母能



天中太厚子



昭和七年十二月六日寄  
市島謙吉 贈

芳野山

西三条称名院公條

嘆とあうちれはさうしれ新そつれ  
よしはあめとさといふこふ姉



志しきのかさたれハ <sup>ナハ</sup> 可右

あぬる様うふ

ヲハツ  
士朗

世成控ふ歩り

さうらの

おれ君

こつふ



ぬるれとさうさうなうさう一の坂  
 あらうも梅のささくは吉野  
 きのうせしちうこそみしめ  
 よしめさうさう香のふれは  
 名うちおんもえもさう花のぬ  
 わらうさうさうさうはひる  
 吉野のさうさうの甚あさ  
 つしうさうさうさうの下陰  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
 湖 砂 桃 要 文 柳  
 水 角 苗 子 露 尾

ぬるれとさうさうさうさうさう  
 吉野のさうさうの甚あさ  
 つしうさうさうさうさうの下陰  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう  
 ぬるれとさうさうさうさうさう

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇  
 醉 大 常 昭 田 筵 舟 雨  
 月 江 成 府 勢 九 行 雨

よしの着  
まやがんげ  
かこ面エ  
陀 念 女



赤品  
素心玉子  
[Seal]

石せとりふぶるや将一しーのこれ 京 月居  
[Seal]

長きといふしめ、着の

うらみ  
たうらみ

十二  
手佐丸

吉野たむこ

花もつりてね

おのひしに

ねりしに

たふこしきふ

名ふあし

信玄金居堂

笹丸



葛司

役行者御靈堂  
徳だららけ  
森御殿御用所大町大和様

[Seal]

吉野川水分勝景

積込遺

こころあふふ風吹

六田のぼけ

雪はりくたね

六草大蔵

重家

やうふふふ

まごり

あいな

まらぬ

可要



大魯

ほそ合の

多命

たごり

川の

カ和

とつら

月くいて

よしめ

川

春坡



独舟裏のこやを隔しとらふの  
 こゝろと紙をよみそとらふの  
 こゝろと紙をよみそとらふの  
 こゝろと紙をよみそとらふの

山崎の藤より中とよし  
 花よまをくはらふよし  
 月雪よながれて止むよしの川  
 秋よちやちよれ葉の影よ  
 草あらし女よらし  
 こゝろと紙をよみそとらふの

曉臺  
 蕪村  
 可翠  
 富春  
 弦声  
 四声



浪花七文章

萬年歌

吉野

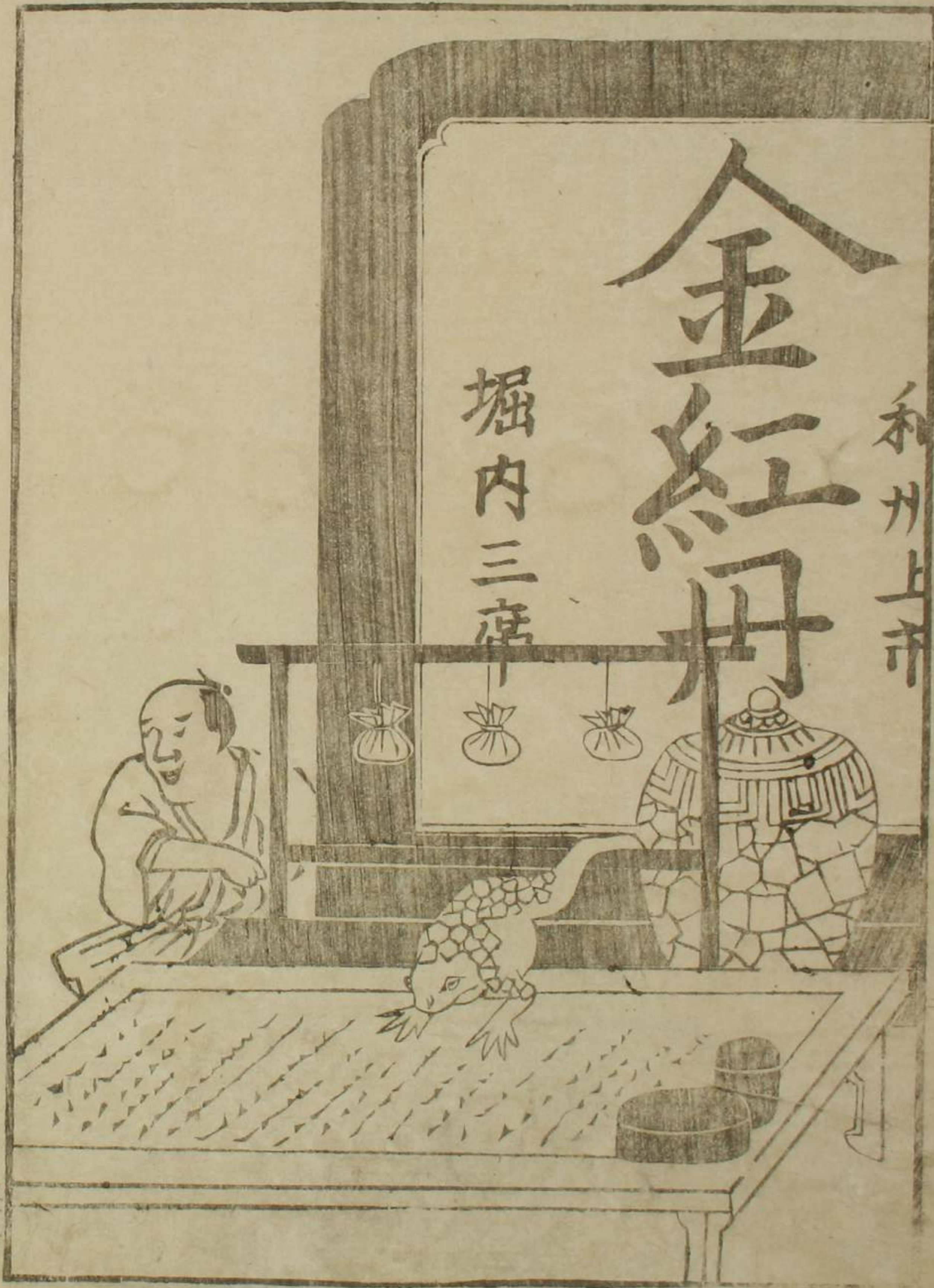
ふとねる星はもろきよし  
 舟のたふす船のほしとねり  
 百歳の女よらし  
 さうらうとねり

五八 船丸  
 五八 船丸  
 可翠

和州上市

# 金紅丹

堀内三席



神丹

神仙丹竈物

服得王顏紅

不為千金鬻

救民天下中

芳水題



浪花十一童

香山





鈎瓶鮎之圖

後押那へ年々く  
 あちの市とくも  
 なるんよれせこの  
 大なるめいほうくも教ふまの  
 ともささくさあささ依こ  
 ちささくさあささ依こ  
 并さあさくさあささ依こ  
 さあさくさあささ依こ  
 はさくさあささ依こ  
 せのおほんあさくさあささ依こ



未ださくさくさあささ依こ  
 路さくさくさあささ依こ  
 ふさくさくさあささ依こ  
 さあさくさあささ依こ  
 月れ味脊さあささ依こ  
 あさくさくさあささ依こ  
 さあさくさあささ依こ  
 さあさくさあささ依こ  
 さあさくさあささ依こ

さあさくさあささ依こ  
 さあさくさあささ依こ  
 江戸可受





語出千本麓太夫 名物鮎屋下市村  
 於里律氣慕彌助 權太魂膽欺提魚  
 三貫目金藏首桶 百八數珠在套禪  
 到今每季成献上 風味芳楚皆御存

右 戲咏釣瓶鮎 服壽叟

ありけり月ふたつまうらうほくそとし  
 名あり佐松とてそそきとそそきの  
 そそきのうらうらもめりあゆいそそ  
 いそぎもかきぬそそきとみよけ  
 ちやまのこはれ柳

十六 角一  
 隨古齋  
 可右

五十九

南都

三輪山觀音

三輪山 秋

村のの <sup>五</sup>素鹿

里 <sup>五</sup>も

こころ

こころ秋

ね <sup>五</sup>ふ

五英

ねも紫戸も

こころの雲

か <sup>五</sup>い

想法 里川

燈の秋のころ目より



こころの

こころの

梅れも

湖秋

人のま

神代の

ま

大和

可翠



白雲山觀音



行岡山

義別上下お供  
息安親善父母  
行直何用神様  
心平何方持戒

方輝持毫

画讚



夢之のまじまじと梅の花

ヲハリ

士朗

僧正此知まじまじ梅の花

コヒラ

琴陵

子孫  
百山



初休寺貫之梅

平造

貞幹

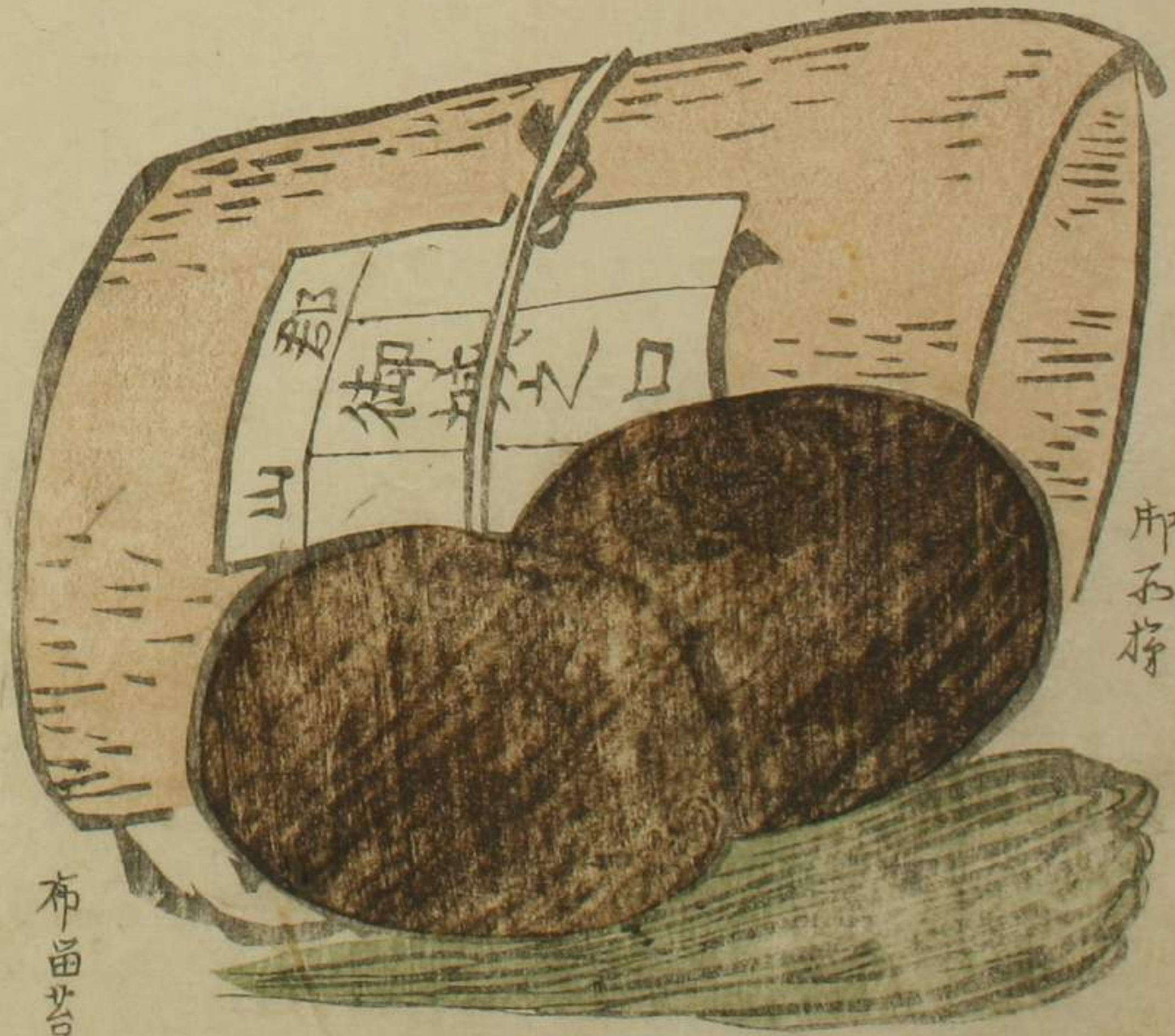
赤人も

子傳いれさる

熟折さる

三不三章

挑處



卯不持

布苗若

平造

龜石宮



十三八 藤幸

おんてん丸

十三八 力丸

十三八 可右

宇陀茅

久々

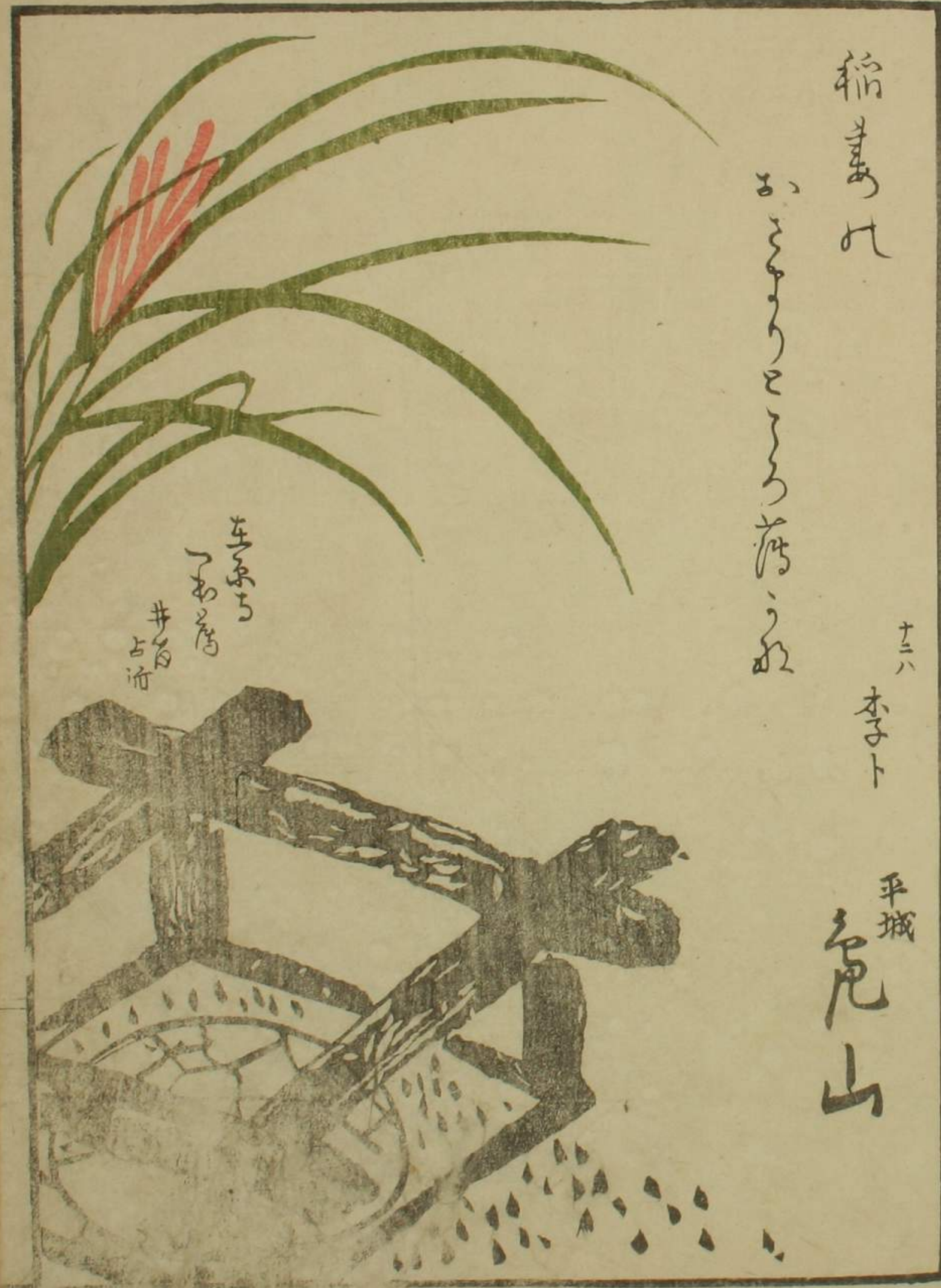
くろもの比、黄英めせと常解の  
妹くつ〜まゐれつ〜〜〜〜〜

地黄英て振返ハ〜の〜〜〜〜

と〜〜あちやも〜〜常解

〜痛の里と〜〜と〜〜志願ハ

〜ふ〜〜〜〜〜〜〜〜



稲妻

おとろりとしろり

十三八  
木子ト

平城  
危山



和  
子  
人  
和  
和

余ふまても名いさうれ市  
らんぼく／＼賣りの流ち  
と／＼ちらん

十六  
休花  
寸松

南郊傍景

葛政



東部  
在網

東部  
在網

ハ

カ

コ

ハ

カ

コ

左

奈良の山

あふみ

はら

い

左  
正美





つる麻いもはれ志いー三笠山かいらーとねとまいんまもせは

十二八

時兼近

麻の巾

まの白紙

流枝

唱女

まのちりまの巾かたなり

暮れ山

手向山紅葉

南都女之宮

花咲巾系家とえつて七 大 寺

讃岐津由

魯州

大坂城く八里までくり飯を

浪花

砂角

くろそにかされ山 巻く

瑞おをこかこのやまにまゐる

南都

貞幹

やうほろねんをふまろ

まゝのこほまゐるれ 三 笠 山

大和

柳尾

麻 啼 や 本 け る 浅 く る 二 月

浪花

一時軒



平城月浦寫

しやつめかかみまがして

ちんちんしんちんおれ

ま白か〜

車延オハ

〜おんおんた〜おんおん

〜しんちんおれ〜

物〜ま〜

可笑



奈良師

世のそつれたふい〜ま〜あり

南家堂お〜る友波

十二

湖水

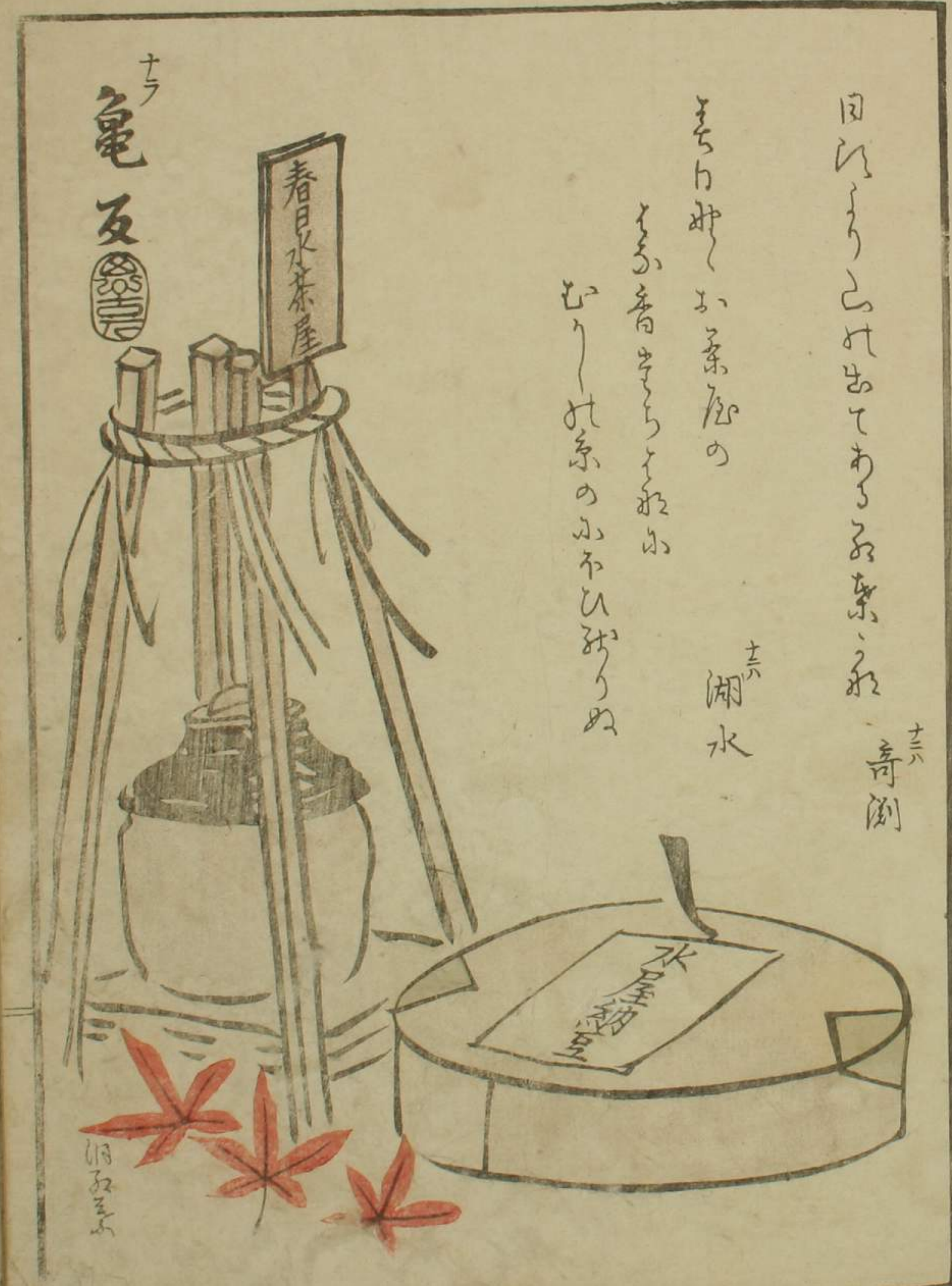


南家堂 藤



平陸十一堂

負松 貞

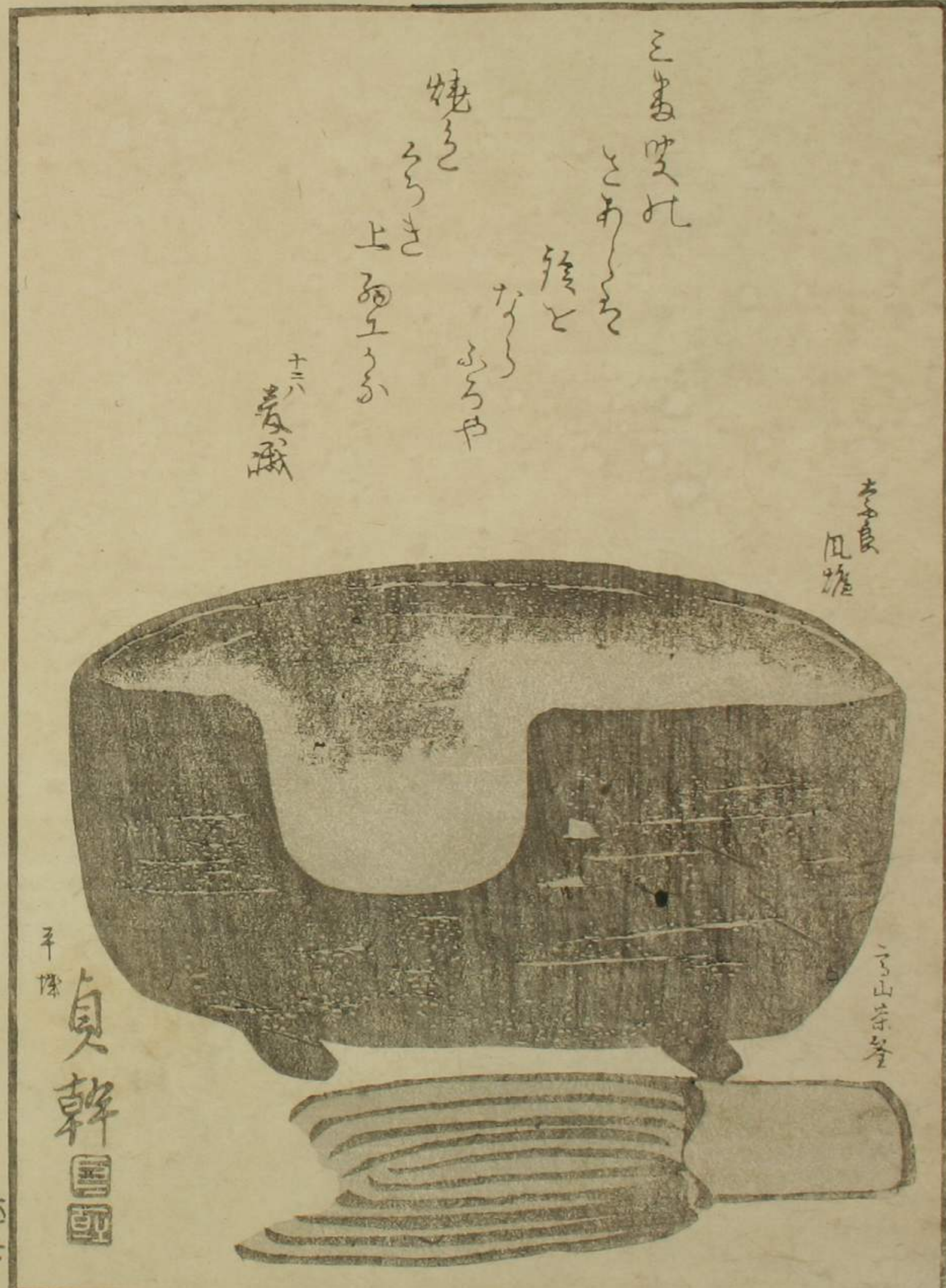


ナラ  
亀反

春日水茶屋

日頃よりこれ出てあるお茶の  
 まりお茶の  
 いろ香きまらぬ  
 びりお茶のふりひびりぬ  
 湖水  
 奇測

旧紙



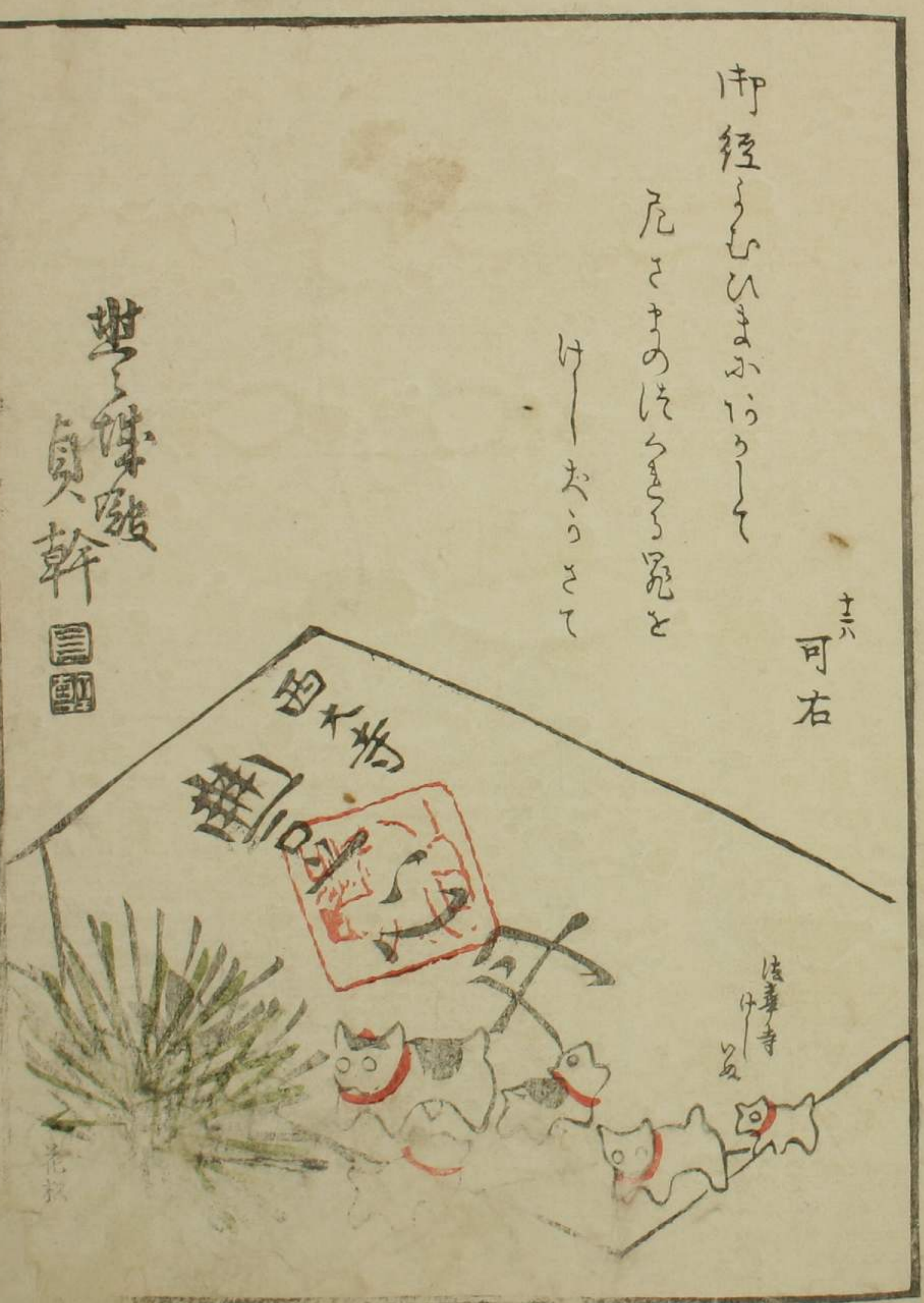
とま  
 とあ  
 焼  
 上  
 十六  
 十七

十六  
 十七

山

平  
 貞  
 十  
 七

六十七



世々傳  
貞幹

御経うひひまふらうし  
危さすのほろろるる  
けりたるさて

十六  
可右



後めいさうし彫た  
系良人形こそ春日の  
作らうへし

細工とも少ふらうふ  
こちとともいふ  
そらわりの人形  
一倉亭  
魚鱗  
根付も  
系良人形の  
よらう  
かつてもおに  
けりたるさ

り末もねあさふ  
系良人形尉と焼も  
まらうさ  
鹿茂

十六  
奈良人形師  
二皓亭松壽画

南  
五  
鳳  
花  
園  
園



あつたぬ日也  
あつたぬ柳

可右

あつたぬ日也  
あつたぬ柳

要子

あつたぬ日也  
あつたぬ柳

絶丸

あつたぬ日也  
あつたぬ柳

絶丸

八重桜



千  
電  
反  
寄



南那  
白柳亭  
開

こまななる山の

ふれと研立て

えりも名とも

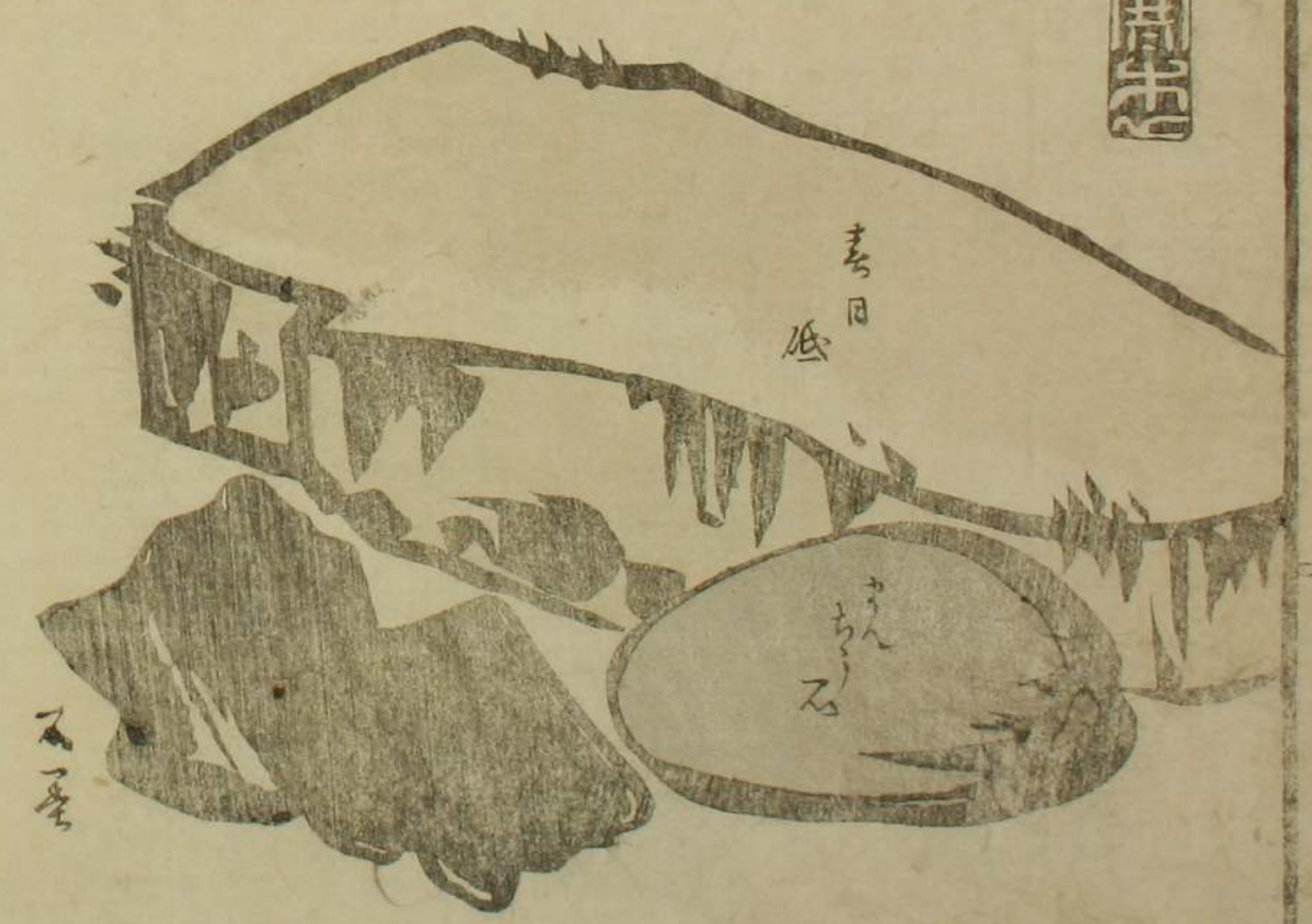
四方小

まわり底

青砥

春日  
底

かん  
石



ふた

七十

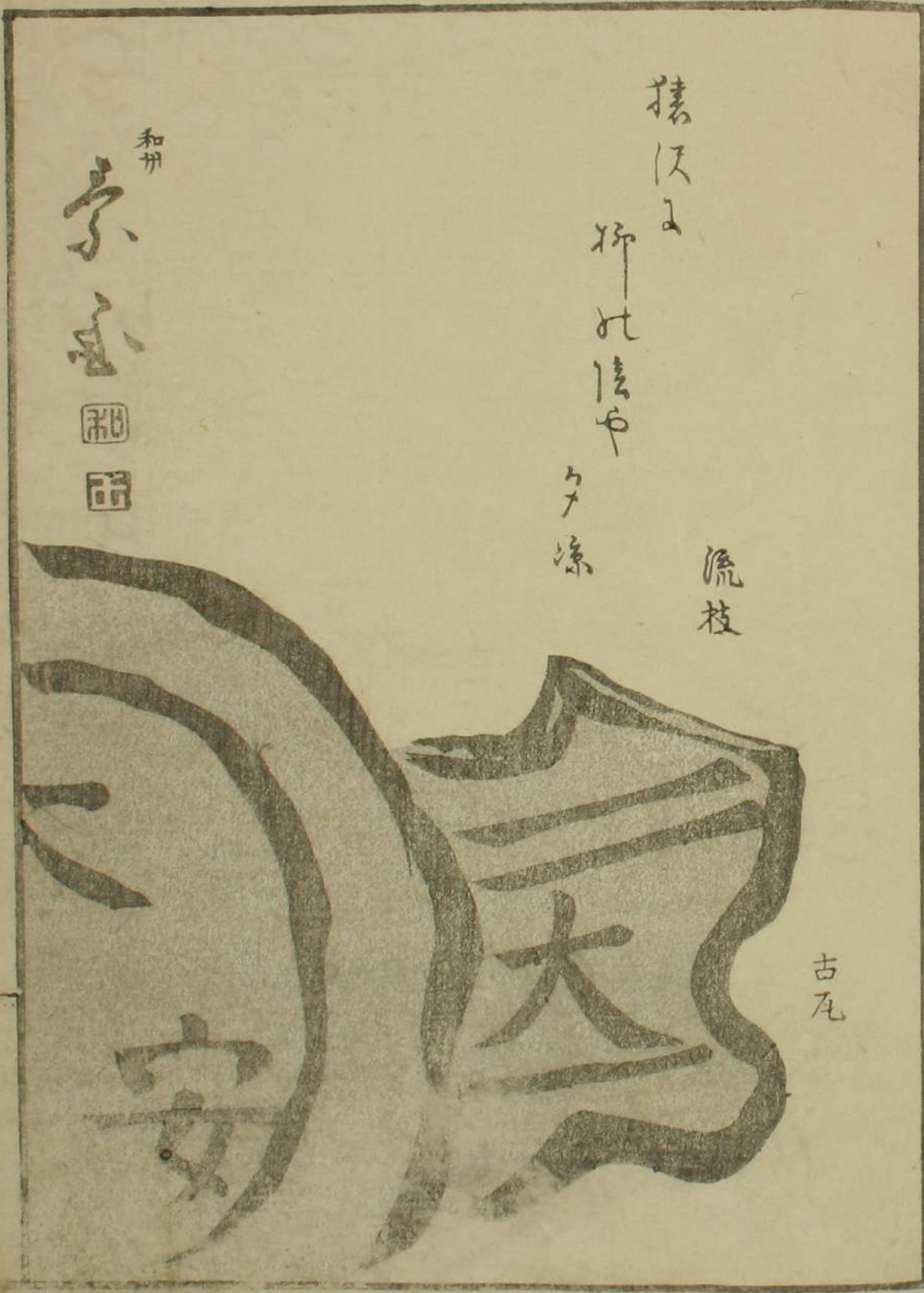
猿  
はよ

柳  
れ  
信  
也

う  
ろ  
涼

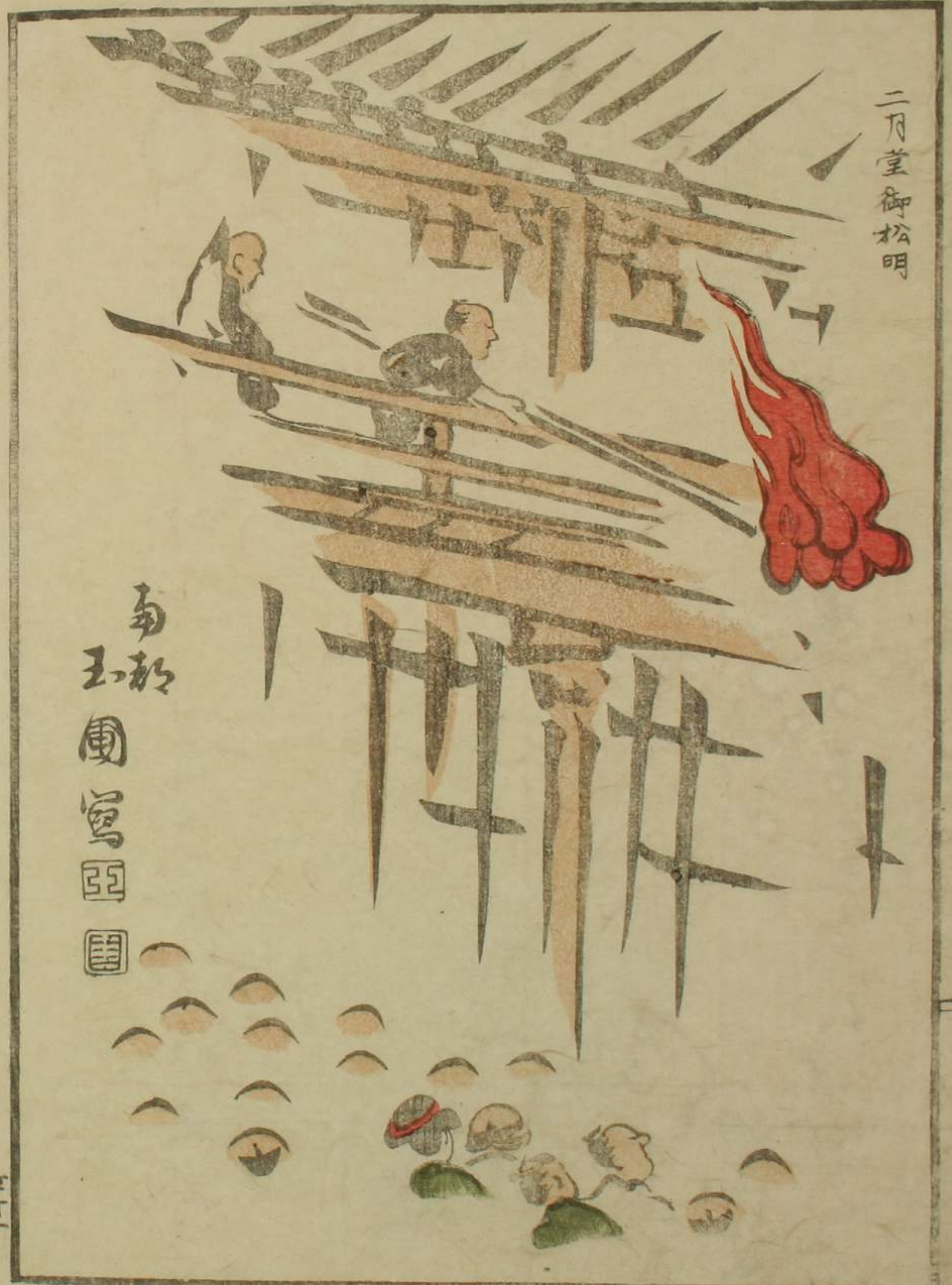
流  
枝

古  
瓦



和  
柳  
宗  
永  
和  
印

二月堂御松明



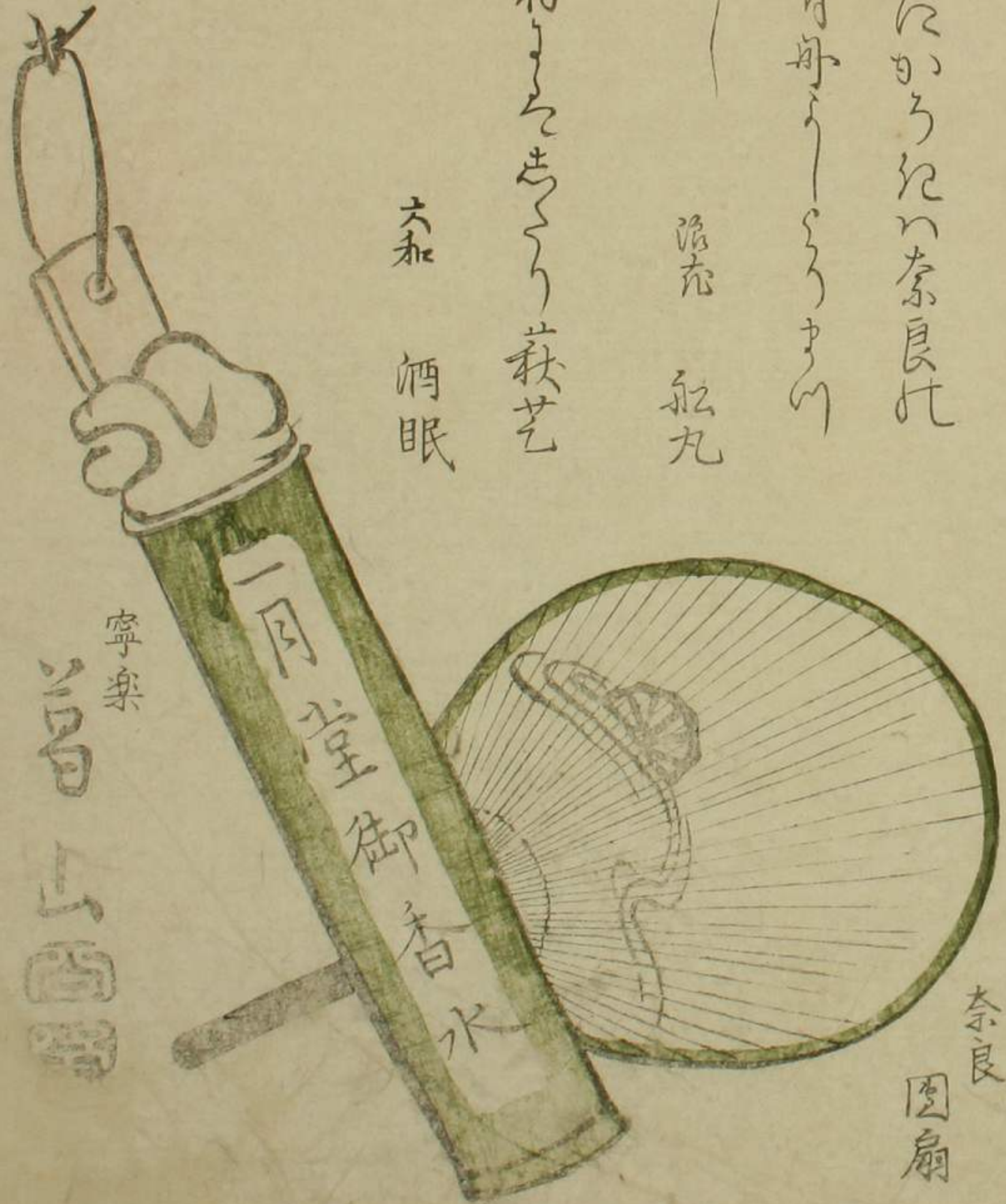
南  
玉  
團  
寫  
亞  
國

志ふやうにかうたの奈良此  
團のれ青舟うーうまの  
あをた

酒丸

秋風の宿よとあさう萩芝

酒眠



寧樂

三月

奈良  
團扇

南都

鹿山製

練鹿

牛馬のり

二匹のり

せねと

ありれひり

程のり

買んわり 麻

張力丸

はき合のきひ巾中ハ麻ヤてり

人よきよれて角奴きく

南都 貞幹

眼のまふとこれ合くり麻のてあ

大和 何海



墨

春日野鹿



お陸 江柳 貞幹

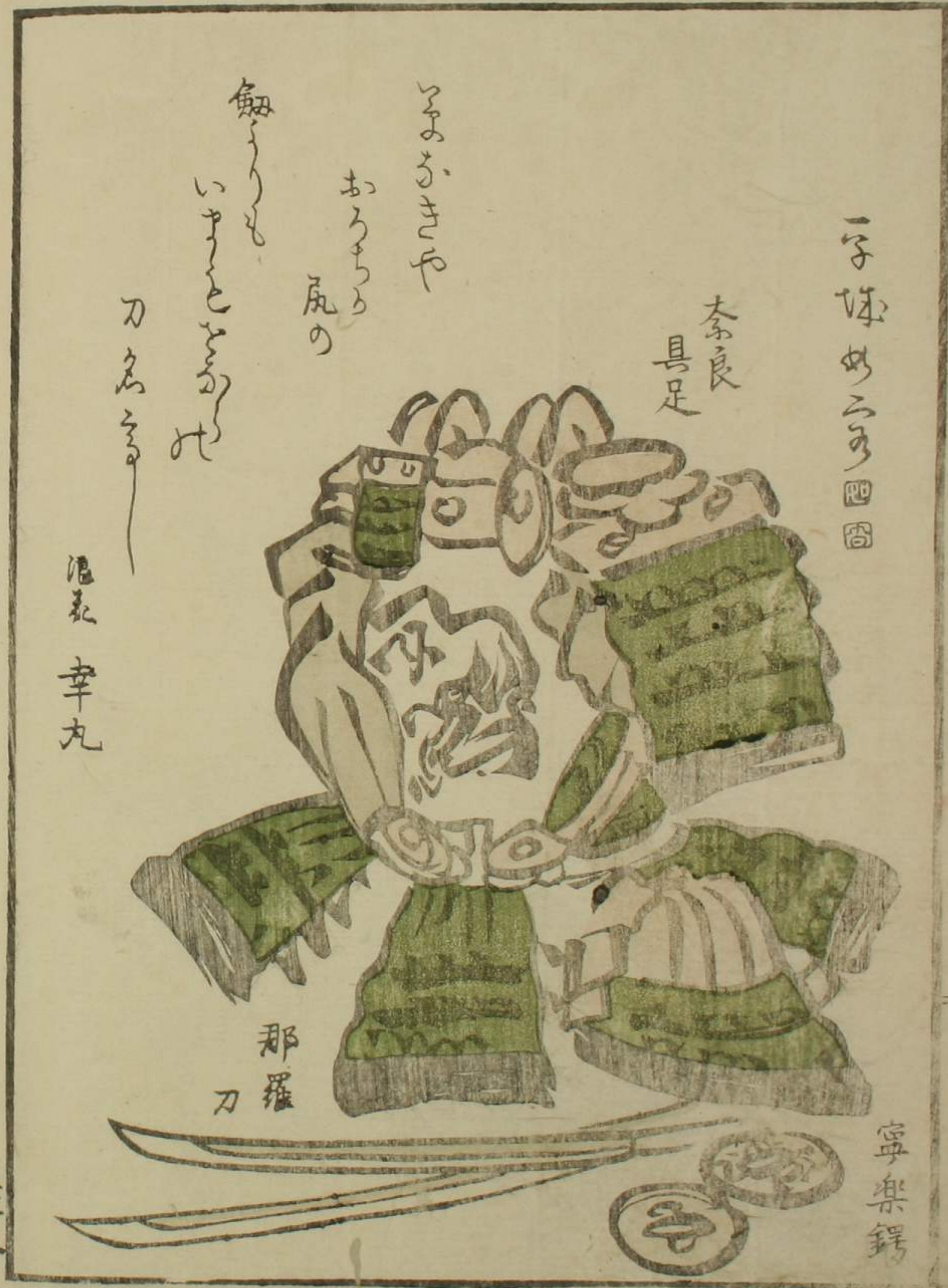


珠光叢

永也  
十二歳樓鳳女

和歌  
いくよ強  
井の島

十三  
可右



一字塚の多田

奈良  
具足

いふきや

おろちり

尻の

無

い

刀名

浪表  
幸丸

那羅  
刀

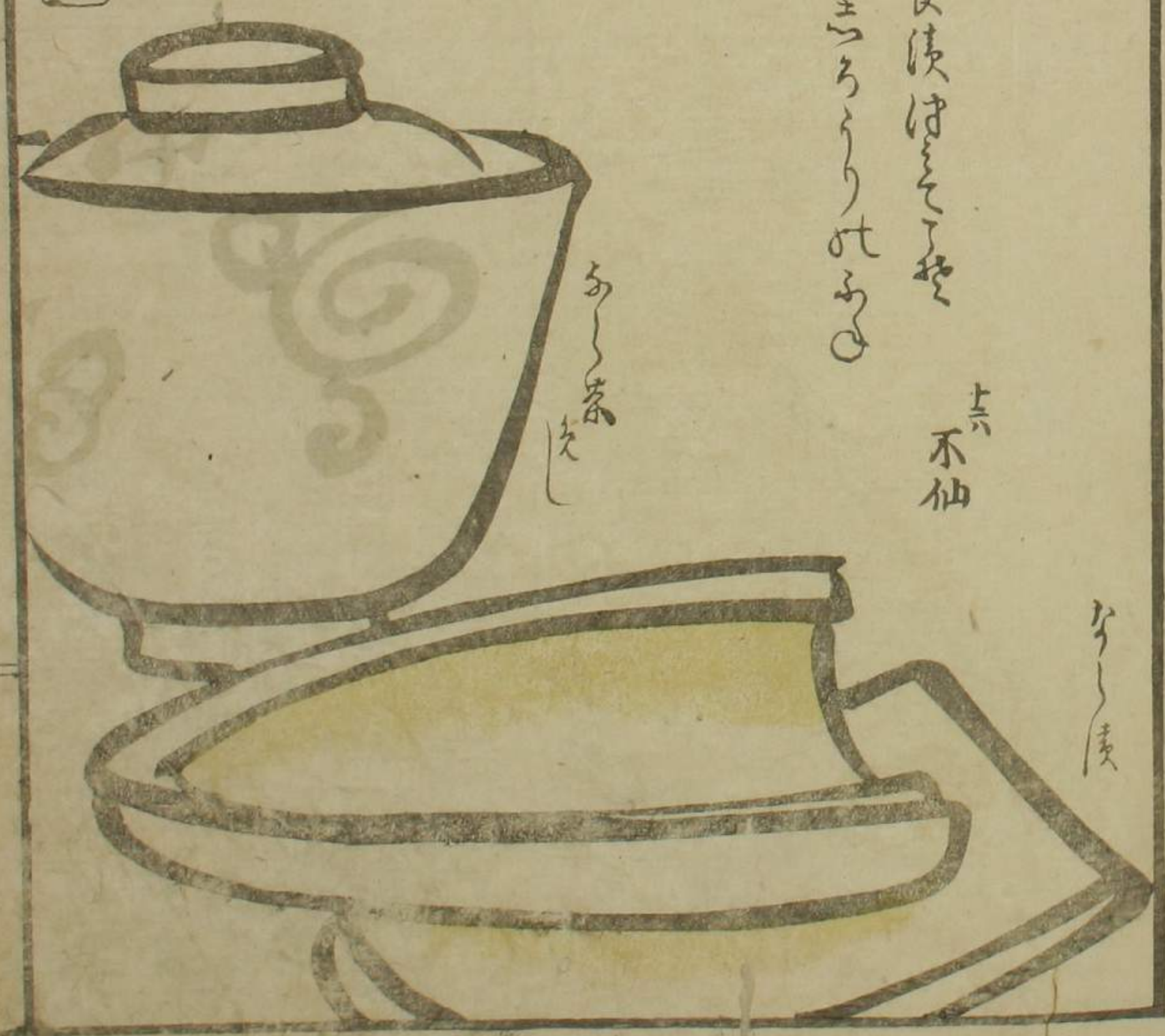
寧樂鐸

七十三



南

江柳寫



香けもの、中て奈良漬けもて、  
風味もくととちろくりけり

上  
不仙

分

あ

ふねひよりそくも

とこめる右梅園

か

す

ナラ  
貴芝

きふ

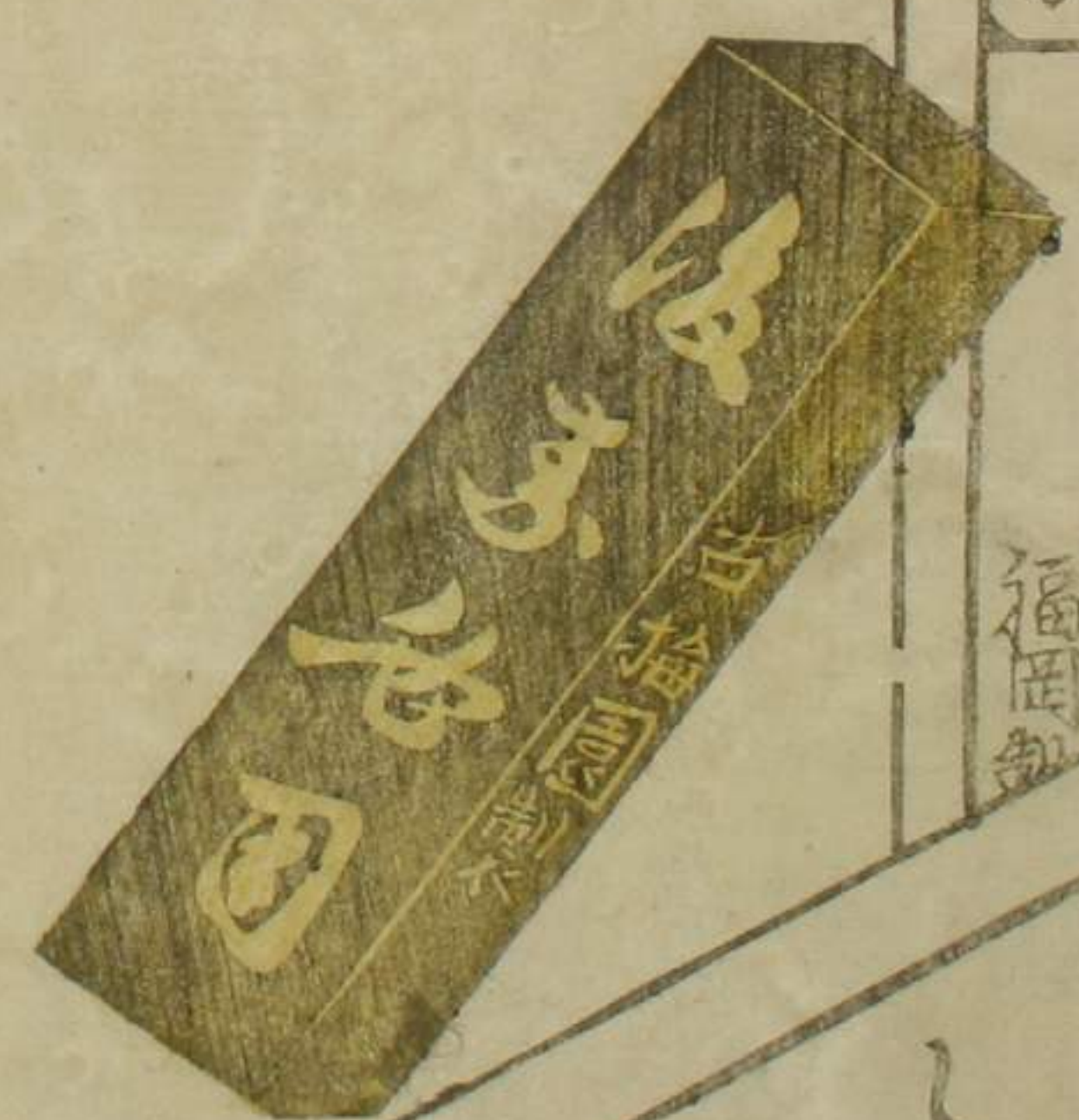
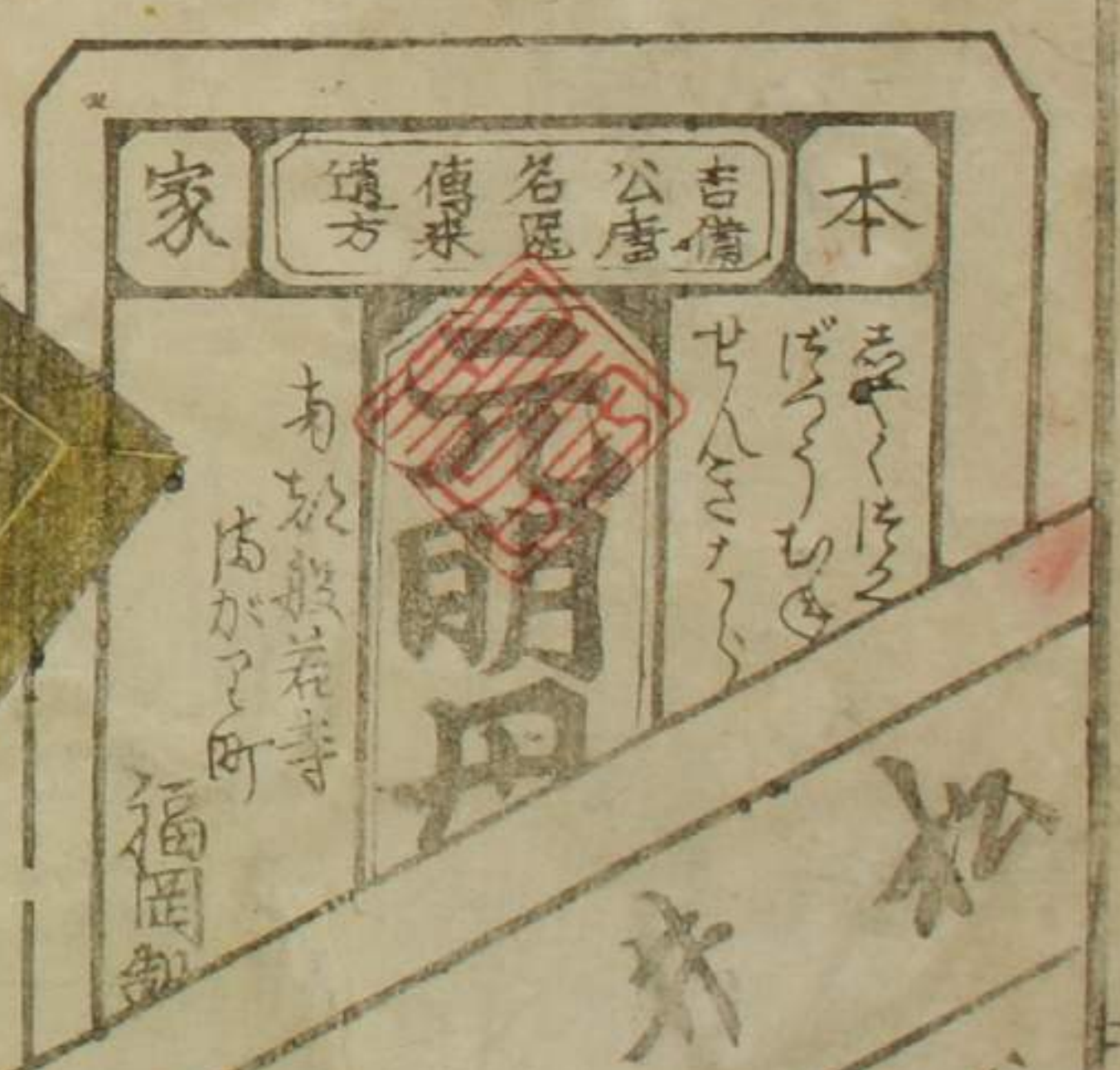
お井  
や

えてと

用の

浪

湖水





杜康奇釀酒中魁數霽酌時佐綠杯  
 一飲都俯千載患醉鄉長入玉山頽

大和 堀内尚義

さうらびのなつめはけのうらさけ  
 はりばりさけのうらさけ

サスキ  
 小香咽圖

大市  
 焼

西人ちり

さうらびのなつめはけのうらさけ  
 かりばりさけのうらさけ  
 むろとさけのうらさけ  
 さけのうらさけ  
 幾代さけのうらさけ  
 めねの甘さけのうらさけ  
 かうさけのうらさけ  
 さけのうらさけ

東都

在綱

大和

文露

浪花

鉄格子

浪花

湖水

徳花頂山

鬼澄



